

日時

2025年10月18日(土)
13:30-17:00

会場

京都大学人文科学研究所
本館4階大会議室

ZOOMウェビナー併用開催

筆跡から わかる！ 書記の仕事

古文書・木簡により紐解く
日・中の書写の現場

第1部 日本古文書により紐解く書写の現場

宮崎 肇

史的文字字形分析の視点をめぐって—日本の古文書を素材として—

第2部 中国古代木簡により紐解く書写の現場

宮宅 潔

中国古代の書写の現場—簡牘・文具・環境・書体—

畑野 吉則

秦始皇帝時代の「文書」ができるまで

飯田 祥子

草稿をつくる書記たち—後2世紀の木簡から—

司会：目黒 杏子（京都大学人文科学研究所）

参加費無料／事前申込み必要

対面参加の場合もオンライン参加の場合も
いずれも下の二次元コードから事前登録を
お願いします。

事前登録フォーム▶

[https://forms.gle/BzVt
ZHrAMdoho27a7](https://forms.gle/BzVtZHrAMdoho27a7)



お問い合わせ

京都大学人文科学研究所 総務掛

Tel. 075-753-6902（平日 9:00～17:00）

E-mail. z-academy@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp

※人文研アカデミー専用メールアドレスのため、当セミナー以外の
お問い合わせには対応できません。

<https://www.zinbun.kyoto-u.ac.jp>

【主催】京都大学人文科学研究所 附属人文情報学創新センタープロジェクト「中国出土文字資料の筆跡分析：筆跡の研究資源化」

「人文科学研究所 創立百周年基金」へのご寄付・ご支援のお願い

寄付フォームはこちらから▶

2029年、人文研は創設100周年を迎えます。それにあたり、これまでの共同研究や諸事業を歴史的に位置づけ、人文研および人文科学の未来を考えるため百周年記念事業に取り組むこととし、本基金において寄付金を募っています。みなさまの温かいご支援をお願いいたします。



筆跡から わかる！ 書記の仕事

古文書・木簡により紐解く
日・中の書写の現場

講師紹介



宮崎 肇 (みやざき・はじめ)

東京大学史料編纂所 特任研究員
専門：日本中世史

主な著作：『歴史的文献分析の視点をめぐって』（高田智和他編『漢字字体史研究 二』勉誠出版、2016）
『影写作業と運筆情報記録について』（『東京大学史料編纂所附属画像史料解析センター通信』第97号、2022）



宮宅 潔 (みやけ・きよし)

京都大学人文科学研究所 教授
専門：秦漢制度史・簡牘学

主な著作：『中国古代刑制史の研究』（京都大学学術出版会、2011）
『ある地方官吏の生涯 木簡が語る中国古代の日常生活』（臨川書店、2021）



畑野 吉則 (はたの・よしのり)

立命館大学衣笠総合研究機構 助教
専門：中国古代通信制度史

主な著作：『里耶秦簡にみえる行書空間』（『東アジア文化交渉研究』第11号、2018）
『懸泉漢簡の割符通送記録 ―形態観察による製作技法の検討―』（『東洋文化研究』第26号、2024）



飯田 祥子 (いいだ・さちこ)

高知大学教育学部 准教授
専門：後漢政治制度史

主な著作：『漢新時代の地域統治と政権交替』（汲古書院、2022）
『後漢中期の地方統治姿勢 ―五一広場東漢簡牘を手がかりとして―』（『古代文化』第75巻1号、2023）

京都大学人文科学研究所

〒606-8501 京都市左京区吉田本町
TEL：075-753-6902（月～金 9:00～17:00）
Mail：z-academy@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp

※京大農学部前の信号を南側に渡る（または百万遍交差点から東に向かい最初の信号を右折）。
北門をくぐって最初の右側の建物です。

<https://www.zinbun.kyoto-u.ac.jp>

